

# ついでに 宇都宮

CONSTRUCTION  
vol. 323  
2022

【題字】宇都宮市長 佐藤栄一様



『ゆいの杜小学校』

施工 校舎：渡辺 増測 中村建設共同企業体  
体育館：岩村 日豊 晋豊建設共同企業体



一般社団法人 宇都宮建設業協会



## 令和4年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会  
会長 菊池 三紀男

あけましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を頂戴し、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年は、まさに新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年となりました。令和2年の年末から始まった第3波は年明けにピークを迎え、緊急事態宣言を受けて一時収まったものの、5月の連休中には第4波を迎えました。

このころから、医療従事者や高齢者を中心としたワクチン接種が進み、収束に向かうかと思われたのも束の間、7月下旬からは感染者が一気に増え続け、8月、第5波のピーク時には全国で一日2万5千人以上、栃木県でも一日250人以上の感染が確認される事態となりました。

このような中で、ほとんどの競技が無観客だったとはいえ、世界中からの選手・関係者を招き、東京オリンピック・パラリンピックが無事開催されたことは、世界に対して改めて日本の力を示すとともに、両大会における日本選手団の活躍は、コロナで沈みがちになる多くの国民に勇気と希望を与えました。

また、ワクチン接種にあたり、私たち建設業従事者が、栃木県からエッセンシャルワーカーに認定され、優先接種を受けることができましたことは、日頃より災害対応に携わる重要な役割が評価されたものであり、改めてその任務の重要性を認識したところであります。

そして、この大変な状況下においても、社会資本整備の担い手として、さらには安全・安心な地域の守り手としての役割を滞りなく果たしてきた会員の皆様には、改めて感謝を申し上げます。

一方で、2019年に成立した「働き方改革関連法」のうち、私たち建設業に与えられた、時間外労働の上限規制に対する5年間の猶予期間も半分を切り、2024年からは、原則月45時間、年360時

間の上限が適用されますことから、長年の課題である長時間労働の是正は待たなしであり、建設業界が一丸となって「働き方改革」の環境整備を進めていかなければならないと強く思うところがあります。

協会といたしましては、引き続き、総合的な労働災害防止対策に一丸となって取り組むとともに、建設業界における健全で安定した経営基盤を構築するため、働き方改革に資する発注方式の実現や、将来にわたる事業量の確保などに向けまして、関係機関等への要望活動等を積極的に行ってまいりますので、皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

今年の干支は「壬寅（みずのえ・とら）」です。「壬寅」は「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になると言われています。

そして、今年はいよいよ栃木県において、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されるとともに、JR宇都宮駅東口地区の街開き、さらには令和5年3月開業に向けたLRT整備事業が最盛期を迎えるなど、地域の建設業が、これまで総力を挙げて取り組んできたまちづくりの成果を、全国に向けて発信できる絶好の機会を迎えます。

新たな変異株である「オミクロン株」の動向など、予断を許さない状況ではありますが、新型コロナウイルスによる冬の時代を乗り越え、私たちの地域に、春の芽吹きが華々しく生まれる年となることを願ってやみません。

結びに、本年が、皆様にとって素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



## 令和4年 新年挨拶



栃木県知事  
福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。  
まず、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、保健・医療提供体制の整備やワクチン接種促進に向けた取組を着実に進めますとともに、引き続き、国や市町、関係機関等と緊密に連携し、県民の暮らしと健康を守るため、必要な対策に万全を期して参ります。

一方、地域経済は大きな打撃を受け続けており、産業の基盤が脅かされるとともに、企業活動やイベントの自粛・縮小等により、ひとの交流機会が減少している状況にあるため、引き続き、通常に近い社会経済活動の一日も早い回復を図って参ります。

さて、今年はいよいよ「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」開催の年です。1月には国体の冬季大会、10月には国体の本大会、全国障害者スポーツ大会であるとちぎ大会と続きますので、市町や競技団体・関係機関と連携を図りながら、大会のスローガンである「夢を感動へ。感動を未来へ。」のとおり、県民が夢と希望を抱き、多くの方々的心に残る大会となるよう準備に万全を期して参ります。

近年、働き方やビジネスモデルの多様化、東京一極集中是正の兆し、環境問題への意識の高まりなどの大きな変化が生じてきており、これまで解決が困難であった課題に対して積極的に取り組む好機が到来しております。これを逃すことなく、新しい時代の潮流を的確にとらえ、デジタル技術も有効に活用しながら、本県の将来像である「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向け全力で取り組んで参りますので、皆様のより一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。



宇都宮市長  
佐藤 栄一

昨年は、市民の生命や暮らしを守ることを第一に、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んでまいりました。

本年も、引き続き、3回目のワクチン接種をいち早く受けられる体制の整備など、感染拡大防止と社会・経済活動の両立に全力で取り組んでまいります。

また、L R Tの令和5年3月の開業に向けて着実に整備を進めるとともに、交通ICカード「トトラ」を活用した乗継割引の実施により、日中の時間帯に適用されるバスの上限運賃と併せて「どこから乗っても乗り継いでも街なかまで五百円以内」を実現するなど、公共交通が「つくる」から「つかう」ステージへと躍進する重要な年となりますことから、公共交通を利用していただく運動を市民や事業者の皆様と一緒に盛り上げてまいります。

さらに、宇都宮駅東口地区のまちびらきをはじめ、街中の屋内の遊び場である「ゆうあいひろば」のリニューアルや子ども食堂への支援による子どもの健全育成、全小中学校体育館への空調設置による教育環境の充実、「3 x 3」世界大会の開幕戦誘致、世界で類をみない、ごみ発電による再生可能エネルギーで走るL R Tの実現などを進め、誰もが幸せに暮らせる「スーパースマートシティ」を築き上げてまいります。



上三川町長  
星野 光利

謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

はじめに、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがかからず、8月から9月には全国的に緊急事態宣言が発出される事態となり、また、12月には新たな変異ウイルス株が発見されておりますが、全国的には感染者数が抑えられたまま新年を迎えられており、コロナ禍からの脱却を目指した一年でありました。

本町においては、感染症予防対策のほか、新型コロナウイルスワクチン予防接種への御理解、御協力などによりまして、感染者数の増加防止に一定効果を得られているものと認識しております。

さて、県内においては、「いちご一会とちぎ国体」が10月に開催される予定であり、本町ではフェンシング競技が実施されます。昨年、会場となる体育センター改修工事が終了し、本年3月には会場への主要アクセス道路となる町道2-22号線が完成予定であり、国体開催に向けて着々と準備を進めているところであります。

そのほか、町内での大規模開発として、以前より整備を進めておりました上三川インター南産業団地も、予約分譲、予約契約が完了し、今後の町の雇用情勢の改善や経済活性化に向けて展望が開けたところであります。

また、本町は日本の創作折り紙の第一人者であります吉澤章氏の出身地です。吉澤氏は、創作のテーマを広く世界の事物に求めることとし、自然界のあらゆる動植物、地球や宇宙の現象にまで視野を広げる一方で、日常の生活、更には人の心の移ろいも、一枚の紙に託して表現しております。『ORIGAMI』は年齢、性別、障害の有無を問わず、誰もが親しむことができるものであり、本町では、『ORIGAMI』を通じ、将来にわたって活力のある上三川町を実現できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、宇都宮建設業協会の皆様の一層の御健勝と、御活躍を御祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



2021.10.20(水)

## 令和3年度建設業災害防止 安全対策セミナー

建設業労働災害防止協会栃木県支部宇都宮分会（菊池三紀男分会長）は10月20日、宇都宮市コンサーレにおいて分会員約110人が出席し令和3年度建設業災害防止安全対策セミナーを開催いたしました。

冒頭、菊池分会長より「監督署管内における令和3年9月末の休業4日以上労働災害発生件数は前年同期に比べ、建築工事27件と高止まりで推移。土木工事は600%、18件増の21件と大幅に増加している。安全管理で重要なことは、現場で働く一人ひとりが常に安全を意識し、努力、実行していくこと」と安全に対し意識、努力の徹底を求めた。

続いて宇都宮労働基準監督署・高橋拓署長、宇都宮土木事務所・阿久津好光次長兼企画調査部長、宇都宮市建設部・高橋功部長、建災防栃木県支部・谷黒克守支部長（代理・増淵薫副支部長）の来賓挨拶がありました。

また、宇都宮建設業青年の会・入江克拓会長が労働災害撲滅の決意表明をしました。

安全衛生講話は、宇都宮労働基準監督署・山田和昭安全衛生課長から「建設業における労働災害の防止に向けて」、宇都宮中央警察署・青木智交通総務課長から「交通事故の情勢と対策」でした。

（末長修一）



高橋拓宇都宮労働基準監督署長



会場の様子



2021.11.18(木)

## 「環境美化で地域貢献」

一般社団法人宇都宮建設業協会は、令和3年11月18日に「土木の日クリーンアップキャンペーンならびに愛リバーとちぎ河川清掃活動（第4回）」を実施した。

宇都宮土木事務所職員と会員企業そして、担当する建設委員会メンバーが協同で清掃活動を行った。

一級河川田川では清掃・草刈り作業を行い、道路清掃は、JR宇都宮駅西口側の大通り沿いと東口側の鬼怒通

り沿いの歩道で空き缶や吸い殻等のゴミ拾いを行った。

このように行政と協会との協同による環境美化活動を継続的に実施し、市民が利活用しやすいよう河川や道路の素晴らしい環境を維持していくことで、行政のより良いインフラ整備事業の重要性を認識していただくとともに建設業のイメージアップを図り、今後も地域社会や多くの市民に身近で信頼される建設業界を築いていきます。

（増淵勝明）



菊池会長挨拶



田川清掃



宇都宮駅東口清掃



2021.11.9(火)・2021.11.10(水)

総合学習支援活動

## 宇都宮工業高校出前講座

宇都宮建設業青年の会は宇都宮工業高等学校にて2日間にわたり総合学習支援活動の一環として出前講座を行いました。

昨年に引き続き、栃木県測量設計業協会の方々と共同で行いました。一日目は校内の実習室にて建設業界の現状などをテーマにした座学を、二日目にはICT技術を用いた施工体験とLRT車両基地の見学を行いました。

地元の建設業が総力を挙げて取り組んでいるLRT車両基地の見学では実際のLRT車両に搭乗していただき、間近で見る車両や基地設備を前に、熱心に説明に聞き入る生徒の皆さんが印象的でした。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けインターンシップ事業が残念ながら中止となりました。このような中で、建設業の現状とその未来について少しでも理解していただく重要な事業になったと思います。

次世代の技術者を育成していくことも、我々の役目です。限られた時間の中ではありましたが、より一層建設業界への理解や興味を持っていただき、今回の出前講座に参加した生徒の皆さんには今後の進路の参考にしていただけると幸いです。

(入江克拓)



実習室での座学



ICT技術を用いた施工体験



LRT車両基地見学



2021.11.2 火  
総合学習支援活動

## 小学校水害体験

令和3年11月2日、宇都宮建設業青年の会は宇都宮市立田原西小学校にて、「水害から身を守る」というテーマのもと出前講座を実施しました。

今回も、昨年度同様に栃木県東環境森林事務所、宇都宮土木事務所と共催という形で開催させていただきました。両事務所は山地に起因する災害である山地災害からいかに身を守るかという講座を実施することから、当青年の会も昨年同様に水害の際の体験型の講座を実施することにしました。

初めに、令和元年10月の台風19号襲来時の田川の溢水によるJR宇都宮駅前や県庁前通りの冠水した状況の映像を見てもらい、次に河川が氾濫したときに引き起こされる現象などの映像で、浸水が始まる前に避難することの重要性を学習



してもらいました。

続いて、冠水時に水没したドアがいかに重いかを体験してもらえよう、水深40cmと20cmの水没ドア開閉体験と、避難所までの道のりが膝の高さまで冠水していた場合、そのような状態での歩行の大変さを体験してもらえよう、水中歩行のブースを用意し体験してもらいました。



全員の体験終了後、まとめの映像を見てもらい、非常時にどうするか、避難の方法をどうするかを事前に家族で話し合っておくこと、また避難経路を確認しておくことの重要性を説明しました。

今回の講座を通じて、児童の皆さんが災害や防災についてそれぞれの家庭で話題にしてくれることを期待しています。

(亀和田辰紀)



2021.12.21 火  
総合学習支援活動

## 砂場クリーン大作戦

令和3年12月21日、宇都宮建設業青年の会は認定こども園さくらが丘にて、今回で5回目となる総合学習支援活動「砂場クリーン大作戦」を実施しました。

今回は年長クラスの園児約120名に参加していただき、4つのグループに分かれて楽しみながら建設業の役割や魅力に触れていただきました。

内容としましては、会員がスコップですくった砂場の砂を園児にふるい掛けしてもらい小石やゴミを除く砂場クリーニング、会員が操作するバックホウと一緒に乗りこんでもらい、実際に同じ目線で旋回やアームの動きを楽しんでも



らうバックホウの搭乗体験、ヘルメットと安全帯を装着して上空からの景色を楽しんでもらう高所作業車の搭乗体験、台風がきたときと、道路ができるまでの建設業の仕事を紹介する2種類の紙芝居の4つの活動を行いました。また、紙芝居と記念撮影には宇都宮市のマスコット「ミヤリー」ちゃんにも登場してもらい、園児を楽しませてもらいました。



今回の砂場クリーン大作戦にご協力を賜りました認定こども園さくらが丘の園長先生をはじめとした関係者の皆様、心より感謝申し上げます。

(亀和田辰紀)

## 委員会 活動報告

### 組織運営を基盤として

### 総務委員会

令和3年度は緊急事態宣言のもとで、多くの事業が中止を余儀なくされた年でありました。しかし、厳しい社会情勢においても、当会の各種事業活動を滞らせるわけにはまいりませんので例年に引き続き、協会内の他委員会や各種事業の下支え、広報、事務等の職務にあたらせていただきました。

協会会員交流の場となる各種ゴルフコンペの設営、当会広報誌となる『けんせつ宇都宮』の編集、発行、配布に加え、栃建協の広報誌『Bratto』も市内各所へ配布作業を行いました。また、優良建設工事表彰も総務委員会の職務分掌として、設営にあたらせていただきました。

新たな変異株への感染等、本業のみならず注意を向けなくてはならない事態が差し迫っているところではありますが、緊急事態宣言下の厳しい状況から希望が見えてきているのも事実であります。引き続き当会の事業を円滑に推し進めるべく、与えられし職務を全うしていく所存であります。

(中島 崇)

### 地域の安心・安全のために!

### 建設委員会

建設委員会は、河川清掃活動のほか災害時に備え迅速に対応するための情報伝達訓練を実施するなど、地域の安心・安全のための活動を行っています。

【3月・5月・10月】愛りバーとちぎ河川清掃活動の実施

【6月】道路河川等管理情報システム伝達訓練

(宇都宮建設業協会・栃木県宇都宮土木事務所・宇都宮市役所・上三川町合同訓練)

【7月】川の日クリーンアップキャンペーンの実施

【7月・11月】河内地域家畜防疫演習・現地対策連絡会議への参加

【8月】上三川町農場埋却予定地現地調査の実施

【11月】土木の日クリーンアップキャンペーンの実施

(入江 誠)

### ゼロ災を目指して

### 安全委員会

安全委員会は、新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、以下の活動を継続して行っています。

①毎月1回の安全パトロールの実施

【4月・5月・6月・9月・12月・3月】非公開委員会パトロール(宇都宮労働基準監督署同行)

【8月・11月・1月】非公開パトロール(宇都宮労働基準監督署・建災防安全指導者同行)

【7月・2月】公開パトロール(宇都宮労働基準監督署・発注行政機関担当者・建災防栃木県支部・建災防安全指導者・会員の店社安全管理責任者同行)

【10月】合同公開パトロール(同上及び塩谷支部担当委員・建災防宇都宮分会各団体担当者同行)

【11月】建災防塩谷分会主催合同パトロールへの参加

②建災防主催行事の設営等の協力、安全衛生、暴力団対策、交通安全等に関する講習会の開催

【7月】安全管理者講習会

【10月】建災防宇都宮分会安全対策セミナー

【11月】建災防宇都宮分会トップセミナー

【12月】暴力団対策及び交通安全に関する講習会

今後も労働災害撲滅と労働環境の向上を目指して、会員各社の安全衛生対策の推進を図ってまいります。

(阿久津信一)

### 今後の建設業協会のあり方を見据えて

### 協組促進委員会

「市営住宅修繕」は、委託業者の東急コミュニティとの初年度の関係性もスムーズに進み始まり、5年間のベースとなりつつある。今後を見据えて、会員企業を中心に工事進捗中の「LRT新設事業」(2023年4月開通予定)を進めながら、開通後の維持管理への会員企業の専門的技術向上に重点を置いての研修を進めていく。コロナ禍となり、新しい生活様式が求められ、建設業界自体のあり方も変化していかなければならない。委員会としては、未来のニーズを正確に捉えての企画提案活動も積極的に模索していく。

(上野勝弘)

# 第27回忘年かすのこゴルフコンペ開催

2021.12.27(月)

令和3年12月27日(月)宇都宮建設業協会年末恒例の「忘年かすのこゴルフコンペ2021」が宮の森カントリー倶楽部において参加者23名で開催されました。

当日は天候に恵まれ(数年に一度の大寒波襲来のため、気温はかなり低くなりましたが)、参加者は感染予防に細心の注意を払いながら日頃の運動不足の解消とともに会員間の親睦を深めて、一年間の疲れを皆で労う一日になりました。

競技は18ホールストロークプレーでベリア方式にて行われ、結果は(株)テツカ産業・代表取締役手塚誠さんが見事優勝に輝きました。

昨年もコロナ禍により何かと不自由な日々が続きましたが、今年は一日も早く平穏な日々が訪れることをお祈りいたします。(石黒靖規)



## 宇都宮市教育委員会からのお知らせ

### 企業名を掲載した物品の寄附を募集しています～学校応援制度へのご協力をお願い～

宇都宮市教育委員会では、市内小中学校で使用使用する用紙や封筒などの物品(企業名掲載)の寄附を募集しています。企業から寄附いただいた物品は、保護者や地域住民への通知などに活用しています。本制度の趣旨へご賛同いただき、物品の寄附についてご協力いただきますようお願いいたします。

寄附団体には市長より感謝状等を贈呈するとともに、教育委員会広報紙や市HPに企業名を掲載させていただきます。また、本制度は、「宇都宮まちづくり貢献企業 認証制度」における認証されるための項目の1つに該当します。

#### ～ご協力いただいた企業の皆様～

- ・株式会社美工電気 様
- ・福宮建設株式会社 様
- ・株式会社大塚カラー 様
- ・株式会社五光 様
- ・有限会社石川印刷所 様



#### ●募集物品

用紙・封筒など※その他の物品も可能です。ご相談ください。

#### ●企業名等の範囲

掲載できる企業名等の範囲は、事業者名、ロゴマーク、キャラクター及びキャッチコピーとします。

#### ●申込方法

寄附物品申込書(様式第1号 HPに掲載あり)に必要な事項を記入し、企業名等掲載物品仕様書、物品見本を添付のうえ、宇都宮市教育委員会教育企画課にご提出ください。(郵送可)

また、申込みにあたりましては、宇都宮市ホームページにて、本制度の趣旨をご理解のうえ、ご応募くださるようお願いいたします。※宗教・政治団体、教科書・教材会社、学習塾、私立学校などからの寄附受け入れはできませんのであらかじめご了承ください。

#### ●学校応援認証スタンプ

寄附物品には右記のスタンプの印刷をお願いしております。



### 宇都宮の未来を担う若者を応援してください！～宇都宮市育英基金への寄附をお願い～

宇都宮市教育委員会では、経済的理由のために修学を断念せざるを得ない子どもたちを支援し、未来の宇都宮市を担う優秀な人材を育成するため、返還が免除される奨学金貸付制度を実施しています。この制度は、皆様から頂いた寄附金を積み立てた「宇都宮市育英基金」を財源としています。

ひとりでも多く子どもたちを応援できるよう、企業の皆さまからの寄附金を広く募集しておりますので、趣旨へご賛同いただき、ご支援をいただきますようお願いいたします。

寄附者には市長より感謝状を贈呈し、教育委員会広報紙や市

ホームページに企業名を掲載させていただきます。また、本制度は、「宇都宮まちづくり貢献企業」として認証されるための項目の1つに該当します。

#### ～ご協力いただいた企業の皆様～

- ・創建設計株式会社 様

育英基金

Q 検索

【問合せ】宇都宮市教育委員会事務局 教育企画課 ☎028-632-2705 e-mail: u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp  
(※「宇都宮まちづくり貢献企業 認証制度」については、宇都宮C S R推進協議会事務局: ☎028-632-2433へお問い合わせください。)

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も「けんせつ宇都宮」をよろしくお願いたします。

2021年もまた新型コロナウイルスに翻弄される年になってしまいました。デルタ株やオミクロン株といった変異株が世界中の人々の動きを止め、様々な分野に悪影響を与えている一方で、賛否両論ありましたが東京オリンピック・パラリンピックが無観客とはいえ開催されたことは、様々なイベントが中止される中で明

るい話題になりました。2月には北京冬季オリンピック・パラリンピックが開催されますが、人権等の問題を抱えながらの大会になりそうです。

今年の冬は、ラニーニャ現象の影響で、大雪の可能性があるとのことですので、関係機関や宇都宮建設業協会と相互に連携をとりながら地域の皆さんに頼られる業界として頑張っていきますので、本年もよろしくお願いたします。(亀和田守)

